



TITLE:

表紙・原稿作成要領・編集後記・
裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・原稿作成要領・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 1999, 71(6):
998-999

ISSUE DATE:

1999-03-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/96578>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成11年3月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第71巻 第6号

ISSN 0525-2997

vol.71 no.6

物性研究

1999 / 3

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不適當と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の論文を欧文の論文の中で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) 69 (1997), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限りします。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワードプロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率 約86%)
 - 2) マージンは、上下各約3 cm、左右各約2.5 cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 手書き原稿の場合の原稿作成要領については、刊行会までお問い合わせ下さい。
6. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集後記

ここ3、4年、物性関係の主として一回生向けの基礎講座を担当しているが、最後に、学生さんに感想を書かせたところ、数学・物理はとうにあきらめているので、式がでてくるとさっぱりわからない、という答えが目立つ。1回生だから仕方がないかとも思うが、とうにあきらめているというのが気になるし、年々そういう感想をもらす学生が増えている気がする。学生のレベルが低下しているということがよく言われるが、なぜだろう。高等学校であまり難しいことを教えなくなっていて、その傾向が年々進んでいるということも聞く。ある理科の入試問題の作成委員をされている先生とお話すると、高校のテキストに載っていることがだんだん減ってきて問題が作り難くて困ると嘆いておられた。つまり、昔ならば一言ですんでしまったことが、教科書にその言葉が出ていないので違う言葉で遠回しに説明しないとイケないと言うのである。なぜ、高校でだんだん難しいことを教えなくなっているのだろうか。文部省の方針だろうが、なぜ？ その分、新しい分野・科目が増えてきたのだろうか？ そんな気はしない。ではなぜ？ 人類の頭脳が年々低下していてそれに合わせているというのか？ そんなはずはない。

そういえば、何年も昔に、アメリカでこの傾向がすでに顕著だと聞いた。有名なキッテル先生のテキストである「固体物理学入門」が版を重ねるごとに数式がなくなって易しくなっているというのだ。その理由は、アメリカの平均的な大学生は数学の能力がどんどん落ちてきていて数式アレルギーになっており、キッテル先生は改訂のたびにそのレベルに合わせてざるを得なくなっているのだという。（現在は第7版だったと思うが、大学の教官の間では、学生と輪読などする際に、第2版、第4版あたりの頃のが良いとされている。）やはり、ここでも日本はアメリカの後を追っているのか？ なにも悪いことまでまねしなくて良いと思うのだが…。

学生諸君が不真面目というわけではない。しごくまじめである。私が学生の頃、教養部（現、総合人間学部）は5月にもなるとほとんど学生がまばらになり、試験期間以外は閑散としていた記憶がある。現在では、いつまでたっても学生がまばらになってしまうことはない。夏休みの間ぐらいであろうか。なにが違うのだろうか。昔の学生は、大学の難しい講義を聞いて、全部をわかろうとはしなかった。当然、すべてを理解できるはずがない。「まあ、いつかわかるやろ。わかるかもしれない。」とたかをくくって頭の片隅においておき聞き流す術を知っていたような気がする。その問題をあきらめて放りだしてしまうのではなく、自分の力がそこに及ぶまで、温存しておくのである。今のまじめな学生は、講義のすべてを理解しようとする。自分にはすべて理解できるはずだと信じているのであろうか。講義のはしからはしまで理解しないと不安になるらしい。しかし、そんなことはどだい無理な話である。講義している側だってそんなに良くわかってないことがたくさんあるのだし、そんなことは不可能なので、どんどん脱落してしまう。やはり、現代の受験制度のせいなのだろうか。余

裕を持って教育し独創性を育てようとよく言われるが、文部省が唱える高等学校の教育方針はそれとは反対の方向に向かっている気がしてならない。そう考えるのは私だけだろうか？
 そういえば、私も学生の頃、ドイツ語がすらすら口をついて出てくる先輩たち先生たちのすごさに圧倒された覚えがある。こんな「最近の若いやつは」式のことを書くとは、私も年をとったと言うことか。私の単なる取り越し苦労なら良いのだが・・・。

(k y h v)

[物性研究]

編集長

関本 謙 (京大・基研)

編集委員

池田 隆介 (京大・理・物理)

佐々木 豊 (京大・理・物理)

水口 毅 (京大・理・物理)

山田 耕作 (京大・理・物理)

吉村 一良 (京大・理・化学)

武末 真二 (京大・総合人間)

村瀬 雅俊 (京大・基研)

小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)

本堂 毅 (東北大・理・物理)

佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)

初貝 安弘 (東大・工・物理工学)

堀田 貴嗣 (東大・物性研)

山田 鏑二 (信州大・理・物理)

平田 文男 (分子科学研)

大野 義章 (名大・理・物理)

池田 研介 (立命館大・理工・物理)

宮下 精二 (阪大・理・宇宙地球)

松井 淳 (九大・理・物理)

好村 滋行 (九工大・情報工)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第71巻第6号 (平成11年3月号) 1999年3月20日発行

発行人 村 瀬 雅 俊 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

印刷所 昭 和 堂 印 刷 所 〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
 TEL (075) 721-4541~3

発行所 物性研究刊行会 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

年額 19,200円

裕を持って教育し独創性を育てようとよく言われるが、文部省が唱える高等学校の教育方針はそれとは反対の方向に向かっている気がしてならない。そう考えるのは私だけだろうか？
 そういえば、私も学生の頃、ドイツ語がすらすら口をついて出てくる先輩たち先生たちのすごさに圧倒された覚えがある。こんな「最近の若いやつは」式のことを書くとは、私も年をとったと言うことか。私の単なる取り越し苦労なら良いのだが…。

(k y h v)

[物性研究]

編集長

関本 謙 (京大・基研)

編集委員

池田 隆介 (京大・理・物理)

佐々木 豊 (京大・理・物理)

水口 毅 (京大・理・物理)

山田 耕作 (京大・理・物理)

吉村 一良 (京大・理・化学)

武末 真二 (京大・総合人間)

村瀬 雅俊 (京大・基研)

小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)

本堂 毅 (東北大・理・物理)

佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)

初貝 安弘 (東大・工・物理工学)

堀田 貴嗣 (東大・物性研)

山田 鏑二 (信州大・理・物理)

平田 文男 (分子科学研)

大野 義章 (名大・理・物理)

池田 研介 (立命館大・理工・物理)

宮下 精二 (阪大・理・宇宙地球)

松井 淳 (九大・理・物理)

好村 滋行 (九工大・情報工)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第71巻第6号 (平成11年3月号) 1999年3月20日発行

発行人 村 瀬 雅 俊 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

印刷所 昭 和 堂 印 刷 所 〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
 TEL (075) 721-4541~3

発行所 物性研究刊行会 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

年額 19,200円

裕を持って教育し独創性を育てようとよく言われるが、文部省が唱える高等学校の教育方針はそれとは反対の方向に向かっている気がしてならない。そう考えるのは私だけだろうか？
 そういえば、私も学生の頃、ドイツ語がすらすら口をついて出てくる先輩たち先生たちのすごさに圧倒された覚えがある。こんな「最近の若いやつは」式のことを書くとは、私も年をとったと言うことか。私の単なる取り越し苦労なら良いのだが・・・。

(k y h v)

[物性研究]

編集長

関本 謙 (京大・基研)

編集委員

池田 隆介 (京大・理・物理)

佐々木 豊 (京大・理・物理)

水口 毅 (京大・理・物理)

山田 耕作 (京大・理・物理)

吉村 一良 (京大・理・化学)

武末 真二 (京大・総合人間)

村瀬 雅俊 (京大・基研)

小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)

本堂 毅 (東北大・理・物理)

佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)

初貝 安弘 (東大・工・物理工学)

堀田 貴嗣 (東大・物性研)

山田 鏑二 (信州大・理・物理)

平田 文男 (分子科学研)

大野 義章 (名大・理・物理)

池田 研介 (立命館大・理工・物理)

宮下 精二 (阪大・理・宇宙地球)

松井 淳 (九大・理・物理)

好村 滋行 (九工大・情報工)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第71巻第6号 (平成11年3月号) 1999年3月20日発行

発行人 村 瀬 雅 俊 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

印刷所 昭 和 堂 印 刷 所 〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
 TEL (075) 721-4541~3

発行所 物性研究刊行会 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお支払い下さい。

年会費	1st Volume (4月号～9月号)	4,800円
	2nd Volume (10月号～3月号)	4,800円
		計 9,600円

お支払いは、郵便振替でお願いします。当会専用の振替用紙がありますので、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めに「退会届」を送付して下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、必ず送本先変更届を送付して下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく 2 Volumes 以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご留意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、年会費 19,200円 (1 Volume 9,600円) です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類 (請求、見積、納品書) が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より 6 ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075) 722-3540, 753-7051

FAX (075) 722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 71-6 (3月号) 目 次

○統計科学 文献案内	伊庭 幸人.....	923
○修士論文 (1997年度)		
1/4 充填の擬1次元有機伝導体における新たに見出された 基底状態について	小林 暢子.....	946
○研究紹介		
生命記述への挑戦：アルツハイマー病と老化現象の解明に向けて (京大基研 村瀬雅俊)		986
○編集後記		998
○目 録 (Vol. 70, 71)		1000

物 性 研 究 71-6 (3月号) 目 次

○統計科学 文献案内	伊庭 幸人.....	923
○修士論文 (1997年度)		
1/4 充填の擬1次元有機伝導体における新たに見出された 基底状態について	小林 暢子.....	946
○研究紹介		
生命記述への挑戦：アルツハイマー病と老化現象の解明に向けて (京大基研 村瀬雅俊)		986
○編集後記		998
○目 録 (Vol. 70, 71)		1000